

日本語学会第 155 回大会 プログラム

会 長 窪 蘭 晴 夫
 大会運営委員長 内海 敦子
 大会実行委員長 有田 節子

期 日：2017 年 11 月 25 日（土）・26 日（日）

会 場：立命館大学衣笠キャンパス（〒603-8577 京都市北区等持院北町 56-1）

Tel/Fax：075-466-3374 / 075-465-8364

E-mail：lsj155rits@gmail.com

※駐車場はありませんので、自動車でのご来場はご遠慮下さい。
 ※キャンパス内は禁煙です。

.....

— 第 1 日（11 月 25 日） —

10:00－12:30	評議員会（評議員の方はご出席下さい。詳細は別便の案内をご参照下さい。）	創思館カンファレンスホール
12:00－	受付	以学館 1 階ホール
13:00－17:40	口頭発表（詳細は 2-3 頁にあります。）	以学館 3 階・4 階
18:00－20:00	会員懇親会	以学館地下食堂

— 第 2 日（11 月 26 日） —

9:30－	受付	以学館 1 階ホール
10:00－12:00	ワークショップ（詳細は 4 頁にあります。）	G・H 会場（以学館 3 階）
11:30－12:50	ポスター発表（詳細は 4 頁にあります。）	以学館 4 階
13:00－13:40	会長挨拶，開催校挨拶， 日本語学会学会賞授賞式	以学館 1 階 2 号ホール
13:40－16:40	公開シンポジウム （使用言語は英語、発表スライドに日本語抄訳あり） Formal Approaches to Subjectivity and Point-of-View 理論言語学が解き明かす主観性と視点 Chair/Organizer: Takeo KURAFUJI (Ritsumeikan University) Topics and Speakers : Counterstance Contingency: A Pragmatic Theory of Subjective Meaning Chris KENNEDY (University of Chicago) The Logophoric Hierarchy as Seen from the Point-of-View Projections Taisuke NISHIGAUCHI (Kobe Shoin Women's University) Modal Questions and Point-of-View Shift in Korean and Japanese Yukinori TAKUBO and Masahiro YAMADA (National Institute for Japanese Language and Linguistics)	以学館 1 階 2 号ホール

公開シンポジウムはどなたでもご参加いただけます。

■口頭発表（11月25日(土) 13:00-17:40)

	A会場（以学館4階49号室） 司会：[1-2] 田村 幸誠, [3-4] 堀 博文, [5-7] 米田 信子	B会場（以学館4階48号室） 司会：[1-2] 山越 康裕, [3-4] 大崎 紀子, [5-7] 林 徹
13:00-13:30	[A-1] 木本 幸憲 状態性と事態解釈：アルタ語（フィリピン）に見られる非動作動詞	[B-1] 小林 正人 クルフ語の自発使役構文
13:40-14:10	[A-2] 岡本 進 フィジー語の発言動詞の補文節について	[B-2] 熊切 拓 アラビア語チュニス方言のモダリティ表現と主題人称
14:20-14:50	[A-3] 吉岡 乾 ブルシャスキー語スリナガル方言で再構成され出した名詞クラス	[B-3] 青山 和輝 アゼルバイジャン語・トルコ語と可能表現
15:00-15:30	[A-4] 古本 真 スワヒリ語マクドゥチ方言の記述から浮かび上がる *-mala「終わる」の文法化のプロセス	[B-4] 佐藤 暢治 保安語積石山方言の三人称代名詞
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[A-5] 讃井 綾香 ベトナム語の分裂文に関する研究	[B-5] クロヤン ルイザ, 堀江 薫 アルメニア語の不定詞による名詞修飾の機能—日本語との対照を通して—
16:30-17:00	[A-6] 大野 仁美 焦点表示と焦点関連表現の関係：グイ語の場合	[B-6] 廉田 浩 中古日本語における動詞とアスペクト助動詞との接続相補性の再評価
17:10-17:40	[A-7] 河内 一博 分裂構文と疑似分裂構文の区別と使用における前提：シダーマ語の事例からの考察	[B-7] 西口 純代 Shift-together in Burji

	C会場（以学館4階41号室） 司会：[1-2] 千田 俊太郎, [3-4] 河内 一博, [5-7] 新田 哲夫	D会場（以学館4階6号室） 司会：[1-2] 松浦 年男, [3-4] 中谷 健太郎, [5-7] 小野 創
13:00-13:30	[C-1] 菅沼 健太郎, 藤家 洋昭, アクバイ オカン ハルク エスキシエヒル・カラチャイ語のアクセントーチュルク諸語のアクセント類型論を視野に入れて—	[D-1] 松藤 薫子 日本語を母語とする子どもの所有文の習得について
13:40-14:10	[C-2] 大山 祐亮 印欧祖語 *ōi から共通スラヴ語 y への変化における二重母音のエッジ効果	[D-2] 藤森 敦之, 吉村 紀子, 遊佐 麻友子, 中山 峰治 日本語学習者にみるフォーカスの韻律的特徴
14:20-14:50	[C-3] 山本 恭裕 イロカノ語の音節構造と母音・子音の相互作用	[D-3] 江口 清子, 吉成 祐子, 眞野 美穂, アンナ・ボルジロフスカヤ, 松本 曜 移動表現における着点の有無：通言語的実験研究
15:00-15:30	[C-4] 中川 裕, 宇野 園子 コイサン諸語における器質性構音障害の症例：軽度舌小帯短縮症のグイ語話者によるクリック子音音素の発音	[D-4] 佐藤 俊樹, 玉岡 賀津雄 二重対格制約の心理的実在に関する実験研究
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[C-5] 熊谷 学而, 川原 繁人 ポケモンのネーミングにおける母音と有声阻害音の効果	[D-5] 嶋村 貢志, 秋本 隆之 Only in syntax: Syntactic derivation of lexical compounds in Japanese
16:30-17:00	[C-6] 高橋 康徳 定量的な観点から見た上海語の変調域	[D-6] Brent de Chene On the (Ir)regularity of Dunan Verbal Morphophonology
17:10-17:40	[C-7] 王 鳳翔 中国語母語話者による日本語語頭破裂音の生成 —子音の調音位置・地域差と VOT の関係—	[D-7] 志田 祥子, 中谷 健太郎 How many times is the action repeated? An analysis of semelfactive interpretations based on the combination of the verb and its object

	E 会場（以学館 4 階 5 号室） 司会：[1-2] 中村 渉, [3-4] 井上 優, [5-7] 黒宮 公彦	F 会場（以学館 3 階 31 号室） 司会：[1-2] 金 善美, [3-4] 菅井 三実, [5-7] 伊藤 たかね
13:00-13:30	[E-1] 浅岡 健志朗 チェコ語の所有動詞 <i>mit</i> が表す「学校がある」について	[F-1] 蒲地 賢一郎 ノダ文：命題の性質
13:40-14:10	[E-2] 小栗 哲哉 「自分」の再帰用法と述語の意味制約	[F-2] 李 英蘭 現代韓国語の「-n kes-ita」文の「主題－解説」構造と意味解釈プロセス
14:20-14:50	[E-3] 王 丹楓 中国語動量詞の適用とイベント構造	[F-3] 松浦 幸祐 事態関係の典型性と事態関係の客体化について－テ形接続に見られる「逆接」の意味に着目して－
15:00-15:30	[E-4] 鄭 新爽 中国語の時間認識について－「左」「右」を伴った新たな時間表現を中心として－	[F-4] 平田 裕 「よく食べる」構文における「が/を」交替の検証
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[E-5] 三野 貴志 There comes 時間表現構文の意味機能と否定文との関わり	[F-5] 日高 俊夫 V テイク・V テクルにおける多義性と再分析
16:30-17:00	[E-6] 前川 貴史 英語の単数形可算名詞と「度量の属格」：HPSG による分析	[F-6] 工藤 和也 統語的意味合成と語彙的意味合成
17:10-17:40	[E-7] 西前 明 英語の不定詞関係節と be to 不定詞について	[F-7] 大野 公裕 統語的複合動詞の分類再考

	G 会場（以学館 3 階 4 号室） 司会：[1-2] 定延 利之, [3-4] 越智 正男, [5-7] 上山 あゆみ	H 会場（以学館 3 階 3 号室） 司会：[1-2] 田中 裕幸, [3-4] 宮本 陽一, [5-7] 三宅 知宏
13:00-13:30	[G-1] 浅野 真菜 反対の意味解釈がなされる日本語命令文の研究	[H-1] 田儀 勇樹 日本語における例外的格付与構文と複合名詞句内に含まれた照応形への束縛に関する研究
13:40-14:10	[G-2] 楊 雯淇, 上田 雅信 活性化を用いた手続き的意味：日本語の談話標識「なんか」の事例研究	[H-2] 榎原 実香 「も」の解釈への統語論的アプローチ-累加と全称を中心に-
14:20-14:50	[G-3] 森山 倭成 「だけ」の項削除	[H-3] 澁谷 みどり 変化内在関係節の再考察
15:00-15:30	[G-4] 大久保 龍寛 主要部削除と日英語の属格複合語	[H-4] 片岡 恋惟 日本語受動文における「られ」と「に（よって）」句の範疇と統語的位置
15:30-15:50	(休憩)	(休憩)
15:50-16:20	[G-5] Lukas RIESER The locus of uncertainty and commitment in speech acts: comparing <i>daroo</i> and <i>wohl</i>	[H-5] 林下 淳一, 後藤 睦, 金水 敏 古代日本語における無生物主語の受身文について
16:30-17:00	[G-6] 井原 駿 終助詞における義務的含意と前提の最大化	[H-6] 井戸 美里 対比のハの否定極性について
17:10-17:40	[G-7] 浅田 裕子 日本手話の「列挙浮標」 (List Buoys) について	[H-7] 三原 健一 属性叙述受動文の描く世界

■ワークショップ（11月26日(日) 10:00-12:00)

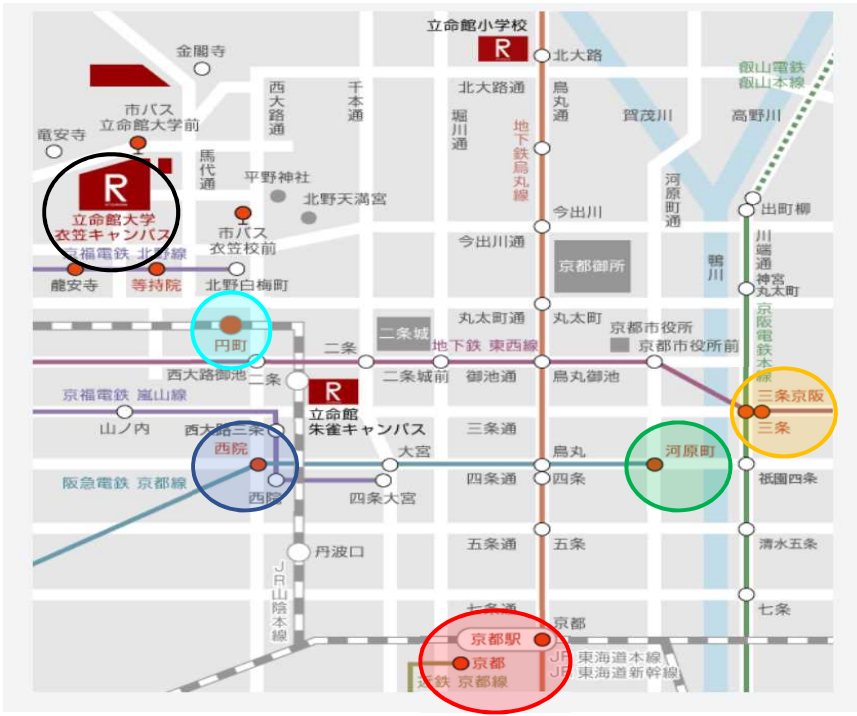
以学館3階 3号室	[W-1] 音韻部門における回帰的併合 企画者・司会者: 那須川 訓也
	[W-1-1] 回帰的併合と強勢 時崎 久夫
	[W-1-2] 非時系列的音韻論における局所性と方向性 高橋 豊美
	[W-1-3] 線形順序を排した英語軟口蓋音軟化の分析 大沼 仁美
	[W-1-4] 一值的音韻素性を対象とした回帰的併合 那須川 訓也
以学館3階 4号室	[W-2] チベット・ビルマ語派における「方向接辞」の諸相 企画者・司会者: 荒川 慎太郎
	[W-2-1] 西夏語とムニャ語の方向接辞 荒川 慎太郎, 池田 巧
	[W-2-2] ダバ語とギャロン語における方向接辞の対照 白井 聡子, 長野 泰彦
	[W-2-3] ティディム・チン語とジンポー語における方向接辞の対照 大塚 行誠, 倉部 慶太

■ポスター発表（11月26日(日) 11:30-12:50)

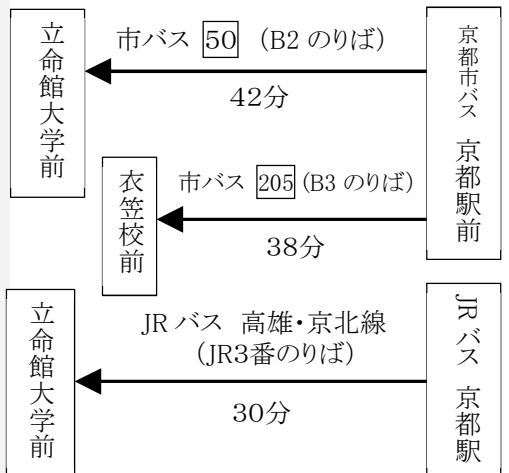
以学館4階 45・46号室	[P-1] Yiliqi, Hideki MAKI, Lina BAO, Megumi HASEBE Subjects of Stative Predicates in Prenominal Sentential Modifiers in Mongolian
	[P-2] 矢野 羽衣子, 松岡 和美 愛媛県大島宮窪地区の村落手話（地域共有手話）における二種類のタイムライン
	[P-3] 團迫 雅彦 日本語を母語として獲得する幼児のTPについて：動詞語幹・活用語尾・主格に注目して
	[P-4] 馬 瓊, 木山 幸子 日本語オノマトペの心像性における母語話者と非母語話者の差異

研究発表会場（立命館大学衣笠キャンパス）へのアクセス

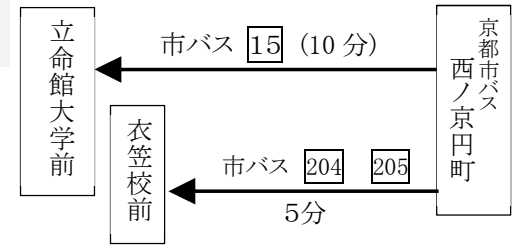
※バスは全て 230 円です。



JR・近鉄 京都駅（烏丸中央口）

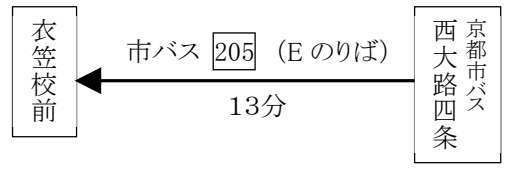


JR 円町



※ JR円町へは京都駅よりJR嵯峨野線で約10分です。

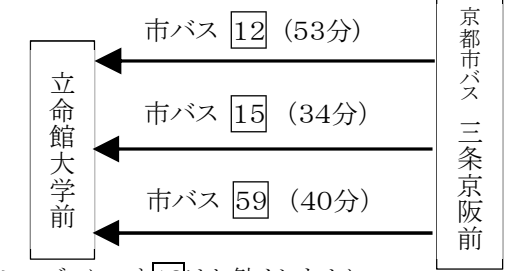
阪急 西院駅



阪急 河原町



京阪 三条駅



※ 観光シーズンにつき12はお勧めしません。
 ※ バスにより停留所の場所が異なります。(P.7のHP参照)

【バス停『立命館大学前』から会場『以学館』へのご案内】



【バス停『衣笠校前』から会場『以学館』へのご案内】

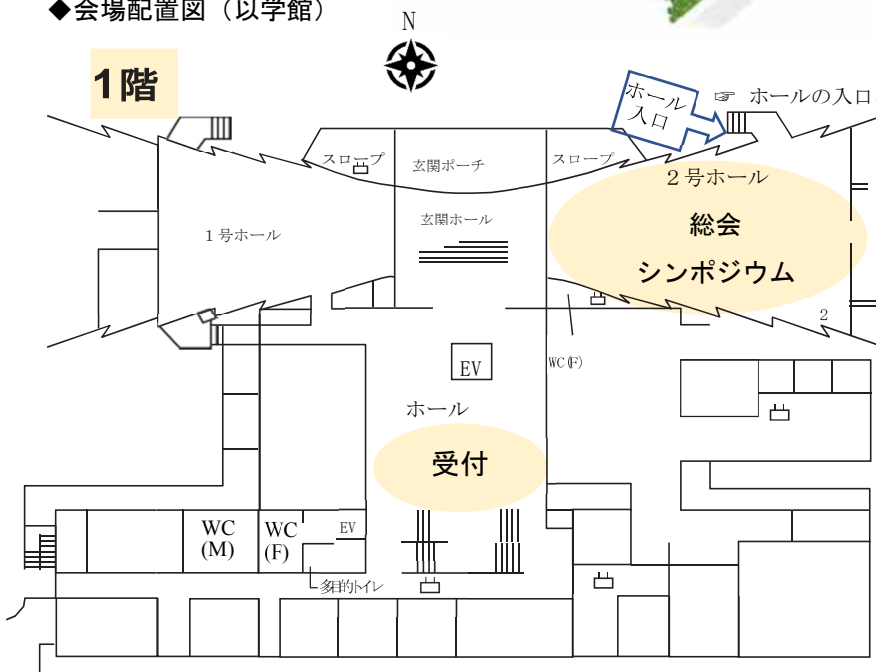
徒歩約8分 (640m)



◆立命館大学衣笠キャンパス 建物配置図

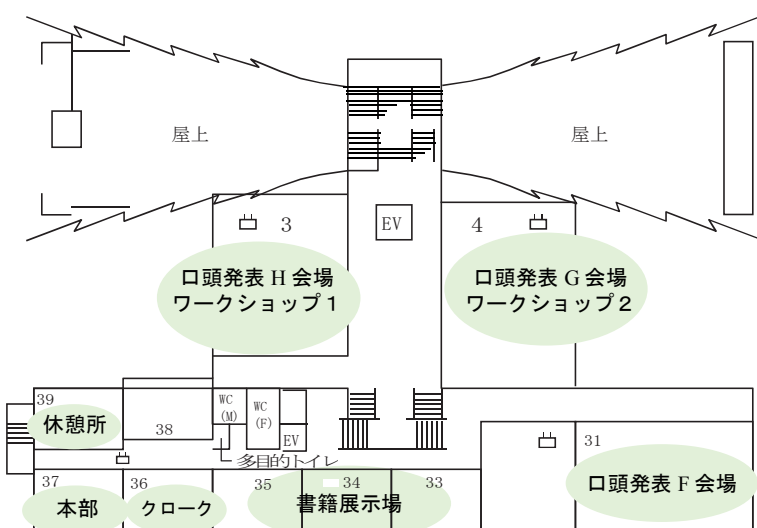


◆会場配置図 (以学館)

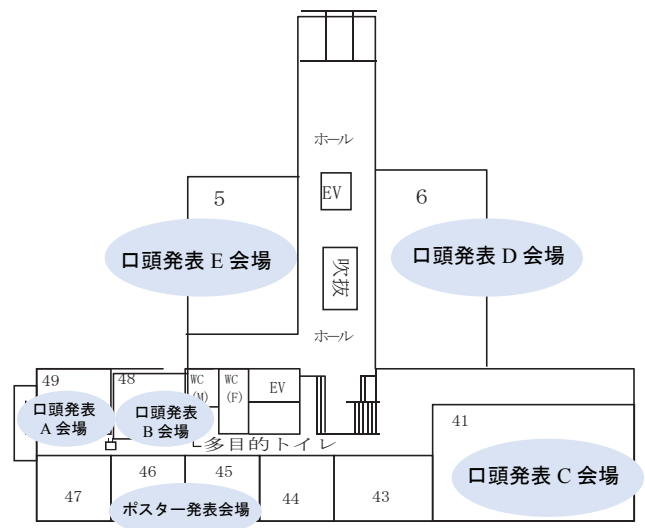


- ※ 受付は、以学館1階の玄関を入り、玄関ホール奥エレベーターの裏側となっております。建物の奥へお進みください。
- ※ 2階には発表会場等はありません。
- ※ 懇親会会場は、以学館地下の食堂になります。

3階



4階



※ 3・4号教室と31～39号教室のエリアは全て3階です。
 (エリア間に階段がありますが、どちらも3階ですのでご注意ください。)

【会場（立命館大学）アクセス・周辺情報 Q&A】

Q. お勧めのアクセスはどれですか。

A. 京都駅からは JR バスをお勧めしますが、JR バスは 30 分に 1 本しか運行がありません。（毎時 00 分と 30 分、9 時台のみ 00 分・15 分・30 分・45 分）阪急電車ご利用の場合は西院から市バス 205 系統がお勧めです。プログラム掲載のアクセスは主なものだけです。詳しくは立命館大学の HP をご覧ください。

立命館大学 HP : <http://www.ritsumeai.ac.jp/accessmap/kinugasa/>

京都市バス、JR バスなどの路線図、停留所情報、時刻表はこちらからご覧になれます。

京都市バス時刻表等 : <http://www2.city.kyoto.lg.jp/kotsu/busdia/bustime.htm>

JR バス : https://www.nishinihonjrbus.co.jp/local_bus/kyoto/

Q. キャンパス内や周辺にコンビニや飲食店はありますか。

A. 土曜日に営業している学内の食堂等は以下の通りです。プログラム P.6 の建物配置図をご参照ください。

2 の建物（存心館）地下の食堂（11：00～14：00）（日曜休業）

21 の建物（至徳館）地下の購買部（飲食物あり）（10：30～15：00）（日曜休業）

キャンパス周辺には、①東門から東（平野神社方面）に向かう通りと、②正門前の「きぬかけの路」を東（金閣寺方面）に向かう通り、のそれぞれにコンビニや飲食店などがいくつかあります。（会場から徒歩 10 分圏内）

事務局からのお知らせ

◆大会予稿集の PDF 化と大会参加費の改定（今年度より）

2016 年春より大会予稿集を PDF 化し学会ホームページに事前公開していますが、前回の 2017 年度春季大会以降、紙媒体の予稿集が廃止され、ホームページ上の PDF のみとなっております。これに伴い、2017 年度の大会参加費は一般会員 2,000 円、学生会員 1,000 円となりました（以前はともに 2,000 円）。なお、非会員の大会参加費は一般が 3,000 円、学生が 2,000 円です。

◆黒田基金（募金）へのご協力のお願い

アメリカ言語学会が故黒田成幸先生（元カリフォルニア大学教授）の功績を称えて黒田フェロウシップ基金を始めました。この基金は「日本からアメリカ言語学会の夏期講座に参加する学生に、参加のための諸費用を給付する」ということを目的として創設されたものです。日本言語学会はこの趣旨に賛同し、2017 年 12 月末日までの期間、日本言語学会の会員から広く寄付を募り、学会からの寄付金とあわせてアメリカ言語学会の募金活動に協力することとなりました（2017 年 6 月 24 日評議員会決定）。

この趣旨に賛同し、募金活動に協力してくださる方は、日本言語学会ホームページ（下記）に記載の要領で日本言語学会の口座（日本言語学会黒田基金）にご寄附をお願いいたします。もちろん、これは任意の寄付であり、強制的なものではありません。またアメリカ言語学会に直接寄付されることを妨げるものでもありません。

http://www.ls-japan.org/modules/documents/index.php?cat_id=179

皆様のご協力をお願いいたします。

◆大会会場でのインターネットの利用について

第 155 回大会会場では docomo 他の公衆無線サービス（サービスに加入している場合）と eduroam が利用できます。学内 LAN の利用が必要な方は大会受付にお申し出ください（ただし電波がつながりにくい場所もあり、利用者数にも制限があります）。予稿集は必ず事前にダウンロードしてお越しください。

お知らせ

◆大会参加費と予稿集

大会参加者は大会受付にて参加費（一般会員 2,000 円，学生会員 1,000 円，一般非会員 3,000 円，学生非会員 2,000 円）をお支払いの上，名札をお受け取り下さい。予稿集は大会の 1 週間前より学会ホームページから電子版予稿集 (PDF ファイル) がダウンロードできるようになりますので，事前にダウンロードを済ませてから会場にお越し下さい。紙媒体での予稿集頒布は行っておりませんのでご注意ください。

◆出張依頼状

所属機関長宛の出張依頼状をご入用の方は，返送先を明記して切手を貼った返信用封筒を同封の上，**11 月 3 日（金）（必着）**までに学会事務支局までお申し込み下さい。

◆大会期間の昼食について

大学内の食堂（存心館地下）は，土曜日は，11 時から 14 時までの営業です。また，日曜日は営業していません。衣笠キャンパス周辺の飲食店，およびコンビニエンスストアをご利用ください。

◆会員懇親会の申し込み

会員懇親会へ参加ご希望の方は，大会当日に受付でお申し込み下さい。会費は，一般 5,000 円，学生 3,000 円を予定しています。

◆保育室の設置

保育室を設置します。保育室の利用を希望される方は，学会ホームページ「保育室の設置について」をお読みになった上で，2017 年 11 月 4 日（土）までに保育室担当宛（lsj.childcare@gmail.com）に御連絡下さい。

- ・利用可能時間：11 月 25 日（土）12:45-18:00，11 月 26 日（日）9:50-16:50
- ・料金：お子様 1 人あたり 1 時間につき 500 円

◆手話通訳などについて

手話通訳，ノート・テイクなどをご利用希望の方は，学会ホームページの大会案内をご覧ください。受付締切は 10 月 16 日（月）です。

◆書籍展示

書籍展示は，以学館 3 階 33、34、35 号教室で行います。

◆大会予稿集，『言語研究』のバックナンバー

前回大会に続き，今大会においても余剰分の『言語研究』バックナンバーを大会会場において無料頒布します（郵送等のサービスは行っておりません）。なお，大会予稿集および『言語研究』のバックナンバーは引き続き郵送での注文も受け付けております。購入をご希望の方は，在庫状況を学会ホームページでご確認の上，学会事務支局までお申し込み下さい。

◆クロークの設置

クロークを設置します。以学館 3 階 36 号教室です。

◆資料展示コーナー

会員相互の情報交換のための資料展示スペースを用意します。会員に紹介したい学会，研究会，講演会のパンフレット等を置くことができますのでご利用下さい。（配布物は当日受付にご持参下さい。）

次回大会予告（2018 年春季大会：第 156 回大会）

場 所：東京大学（〒113-0033 東京都文京区本郷 7-3-1）

日 程：2018 年 6 月 23 日（土）・24 日（日）

公開シンポジウム，口頭発表，ワークショップ，ポスター発表

研究発表募集：学会ホームページから発表申し込みができます。

- ・発表応募締め切り **2018 年 3 月 20 日（火）（必着）**
- ・採否通知 **2018 年 4 月中旬**

* 宿泊施設の混雑が予想されます。宿泊を必要とされる方は早めの予約をお勧めします。

問い合わせ先

日本言語学会事務支局 〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入

Tel. (075) 415-3661, Fax. (075) 415-3662, E-mail: lsj@nacos.com